

## 平成29年度 大腸がんに関する全国意識調査 集計結果報告・全国版

～ 6割以上の女性が大腸がん検診について認識しているが、  
「大腸がん検診を毎年受けている」と答えた人は33.9% ～

NPO法人ブレイブサークル運営委員会（所在地：東京）は、平成24年から5年間にわたり大腸がんに関する全国意識調査を行ってきました。本年は5月に大腸がん検診対象世代である40代～60代の全国の男女14,046名を対象に、大腸がん検診に関する全国意識調査（調査方法：インターネット意識調査）を実施しました。

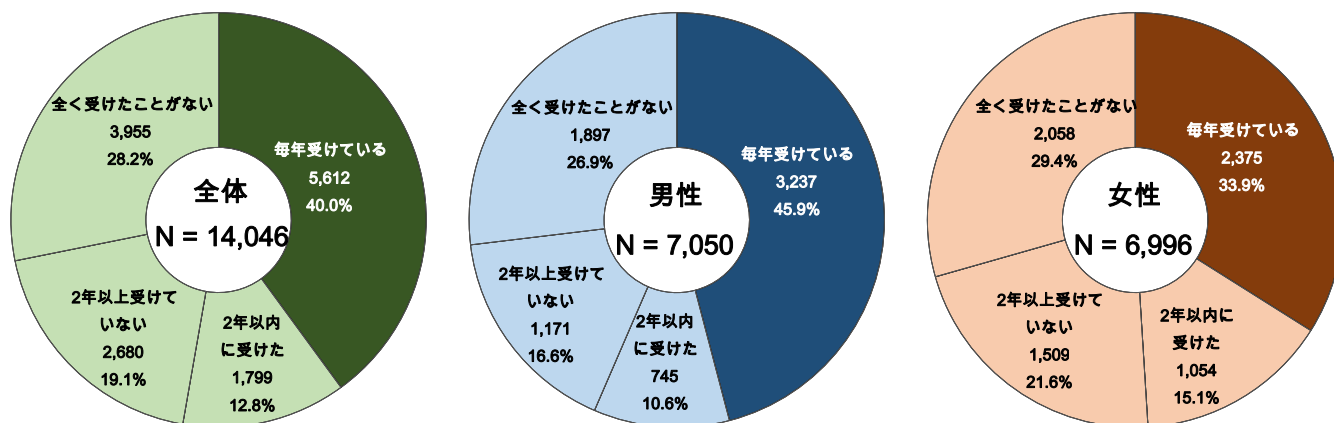
集計の結果、全対象者では「大腸がん検診（便潜血検査）を毎年受けている」と答えた人の割合は40.0%となり、男女別では男性が45.9%に対して、女性が33.9%で男女に開きがありました。

「大腸がん検診の内容（=便潜血検査）」についての認識は、男性の46.2%に対し、女性が62.3%と高くなりましたが、「大腸がんの危険性」についての認識は男女ともに低いままです。大腸がん検診（便潜血検査）を「全く受けていない」「2年以上受けていない」と答えた人の理由の上位は、順に「便の提出が面倒くさい」「自覚症状がない」「費用がかかる」などでした。

また新しい試みとして、健康保険の種類と大腸がん検診の受診の関係について調べたところ、「大腸がん検診を毎年受けている」と答えたのは職場の健康保険加入者で5割、国民健康保険加入者で3割でした。

### <大腸がん検診（便潜血検査）の受診有無>

設問：あなたは、大腸がん検診（便潜血検査）を受けたことがありますか？（単一回答）



日本では年間約135,000人が大腸がんになり、約47,000人が大腸がんで死亡しています※1。特筆すべきは女性の大腸がんによる年間死亡数が22,881人で、乳がんで亡くなる人（13,584人）の1.68倍に上ることです。大腸がんは女性のがん死亡原因の1位です※2。大腸がんは早期発見・早期治療すれば9割以上が治癒しますが、検診の受診率は37.9%※3と国が目標に掲げている大腸がん検診受診率50%を下回っている状況です。

一人でも多くの方が大腸がんに関する正しい知識を持って検診を受けることで、大腸がんの早期発見・早期治療につながるようお願い、本調査を情報発信の参考資料としてお役立ていただければ幸いです。

※1 国立がん研究センターがん情報サービス『がん登録・統計（2012年の実績）』より

※2 国立がん研究センターがん情報サービス『がん登録・統計（2015年の実績）』より

※3 平成28年 国民生活基礎調査より

### 本リリースの掲載・取材に関するお問い合わせ先

NPO法人ブレイブサークル運営委員会／広報担当：柴田

E-mail: [info@bravecircle.net](mailto:info@bravecircle.net) TEL: 03-6908-9160 FAX: 03-6908-9150

※NPO法人ブレイブサークル運営委員会は官民連携により全国で大腸がん検診啓発活動を展開する団体です。

<http://bravecircle.net/>

過去の調査結果は当法人ウェブサイトでご覧いただけます。

【調査結果】 回答数： 全国47都道府県 14,046名（男性 7,050名、女性 6,996名）

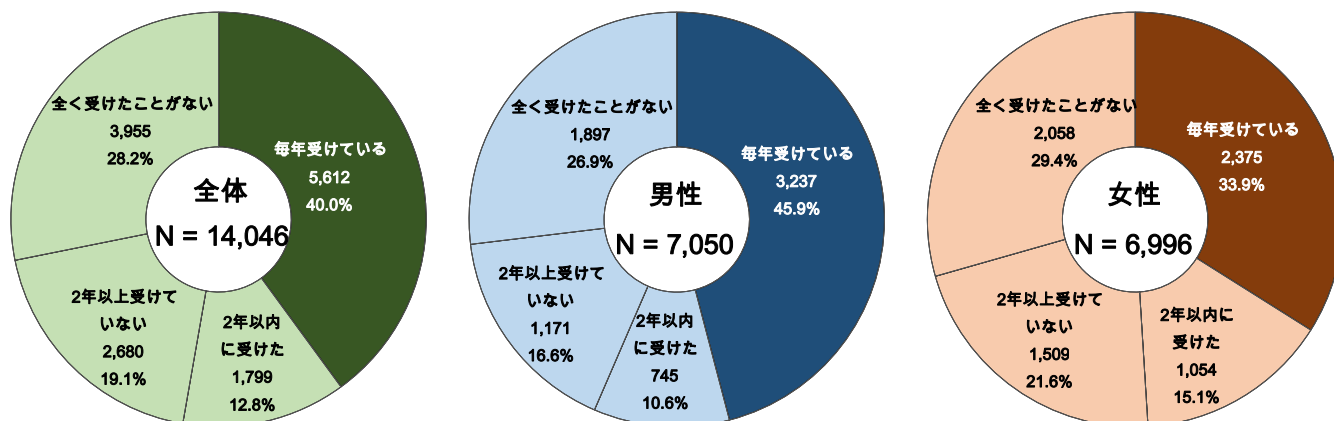
実施時期：平成29年5月 対象年齢：40代～60代 調査方法：インターネット意識調査

### ■大腸がん検診（便潜血検査）受診は男女に開きがある

「大腸がん検診（便潜血検査）を受けたことがありますか？」という設問に関して、「全く受けたことがない」と答えた人28.2%に対し、「毎年受けている」と答えた人は40.0%で、5年前の平成24年の同調査に比べ5.0ポイント上昇しました。しかし男女別に見ると男性が45.9%に対し、女性は33.9%と開きがありました。

#### <大腸がん検診（便潜血検査）の受診有無>

設問：あなたは、大腸がん検診（便潜血検査）を受けたことがありますか？（単一回答）

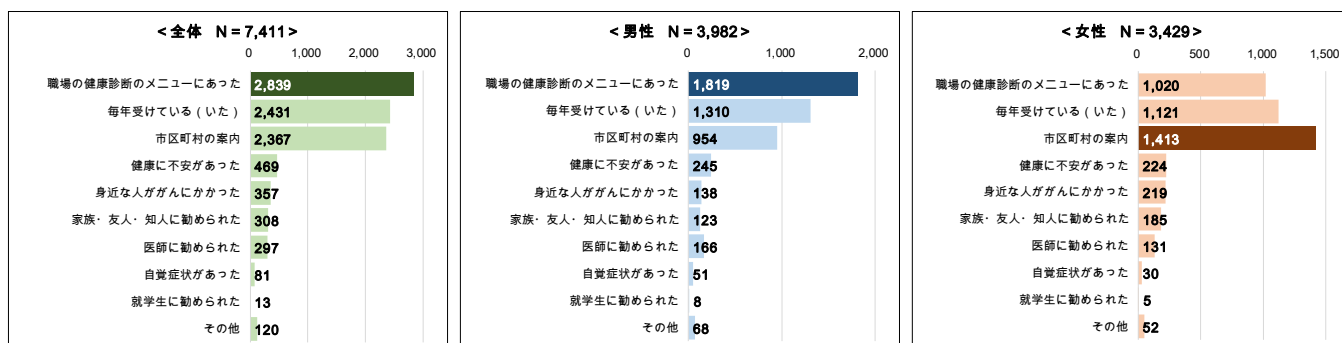


### ■男性と女性は大腸がん検診（便潜血検査）を受けるキッカケが大きく異なる

受診理由は「職場の健康診断メニューにあった」が男性では1位（1,819名）ですが、女性は3位（1,020名）。女性の理由の1位は「市区町村からの案内（1,413名）」でした。男性の多くは職場の健康診断で大腸がん検診を定期的に行っているのですが、女性は市区町村からの何らかの案内に促されて受診しているケースが多いようです。

#### <大腸がん検診（便潜血検査）の受診理由>

設問：どのようなキッカケで大腸がん検診（便潜血検査）を受けましたか？（複数回答可）  
 （便潜血検査を「毎年受けている」「毎年受けていないが、ここ2年の間に受けた」と答えた人を対象）



※ 市区町村からの案内は「健康（保健）推進員に勧められたから」、「市区町村の広報紙の検診案内を見たから」、「公共の場のポスターを見たから」、「市区町村からハガキや電話で案内があったから」、「個人宛に検診案内（個人負担あり）が届いたから」、「個人宛に検診無料クーポンが届いたから」の1つ以上を選択した回答。

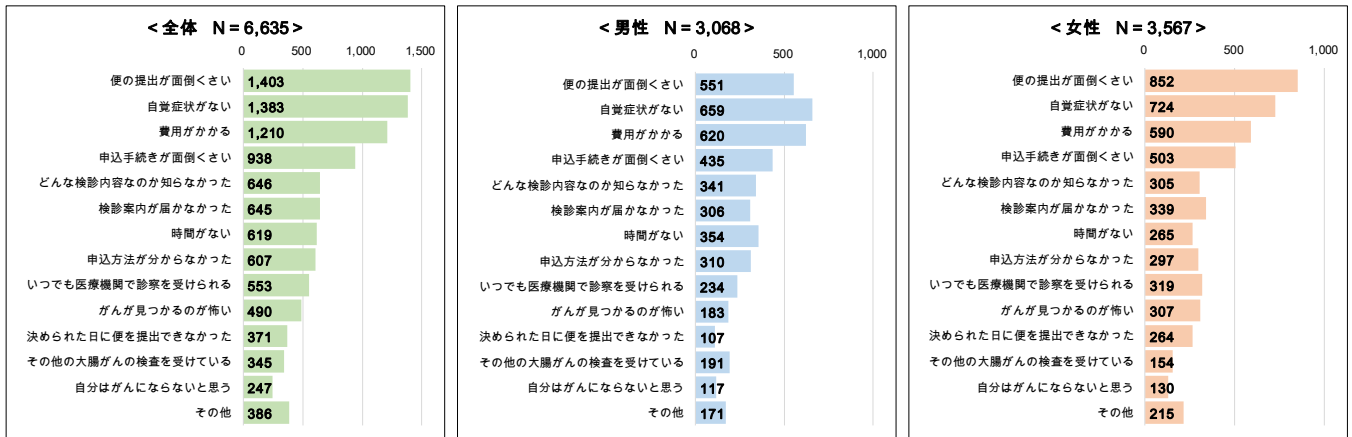
## ■女性が大腸がん検診（便潜血検査）を受けない理由

大腸がん検診を「全く受けていない」「2年以上受けていない」と答えた人に、その理由を聞いてみました。男性の1位は「自覚症状がない」、続いて「費用がかかる」「便の提出が面倒」の順です。女性の1位は「便の提出が面倒」、続いて「自覚症状がない」「費用がかかる」でした。さらに「決められた日に便を提出できなかった」人が男性107名に対して女性は264名でした。厚生労働省の調査※では便秘を訴える女性は男性の2倍いると報告されており、これらの理由と共に今後さらに詳しく調査が必要だと思えます。

※厚生労働省「平成 25 年 国民生活基礎調査の概況」より

### <大腸がん検診（便潜血検査）の未受診理由>

設問：大腸がん検診（便潜血検査）を全く受けていない、もしくはここ2年以上は受けていない理由を教えてください。（複数回答可）  
 （便潜血検査を「全く受けたことがない」「受けたことはあるが、ここ2年以上は受けていない」と答えた人を対象）

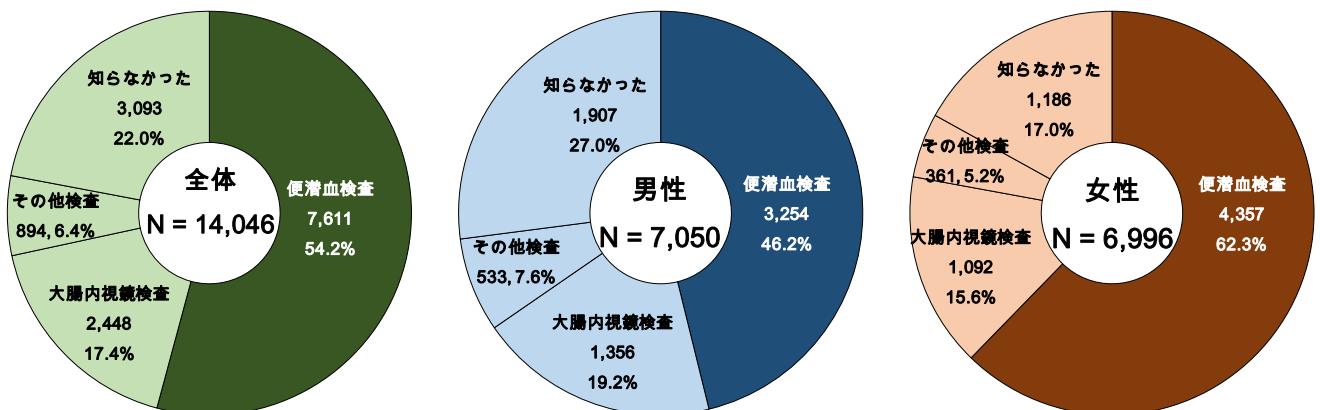


## ■女性の方が大腸がん検診（便潜血検査）について知っている

大腸がん検診は便潜血検査であることを知っている男性は46.2%ですが、女性は62.3%でした。

### <大腸がん検診（便潜血検査）内容の認知>

設問：あなたは、早期発見の手段である大腸がん検診（一次検査）について知っていますか？以下より1つお選びください。（単一回答）



## ■男性も女性も大腸がんの危険性についての認識は低い

「大腸がんの死亡者数が胃がんを抜いて2位※になったこと」を知っていた男性が27.8%、女性は39.3%。

「大腸がんが女性の死亡原因の第1位※であること」を知っていた男性が19.4%、女性は37.2%。

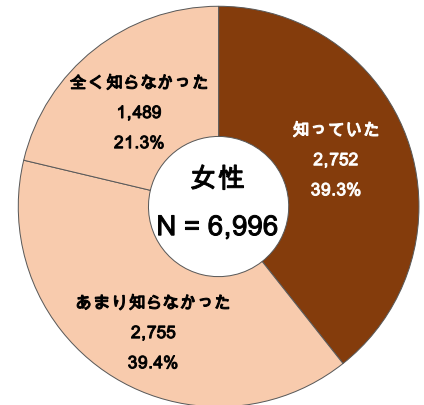
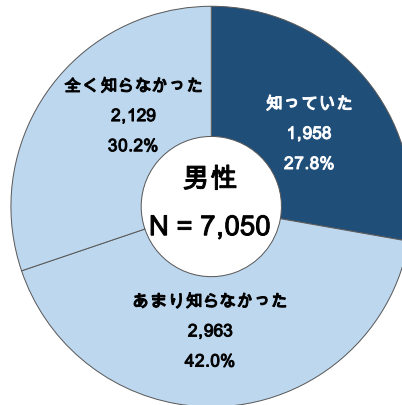
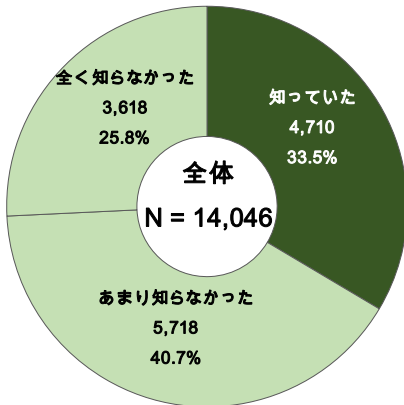
「大腸がんは進行するまでほとんど自覚症状がないこと」を知っていた男性が42.8%、女性は49.4%でした。

大腸がんの危険性を認識している割合は、男女差は有るものの、全体としては低くなりました。

※国立がん研究センターがん情報サービス『がん登録・統計（2014年の実績）』より

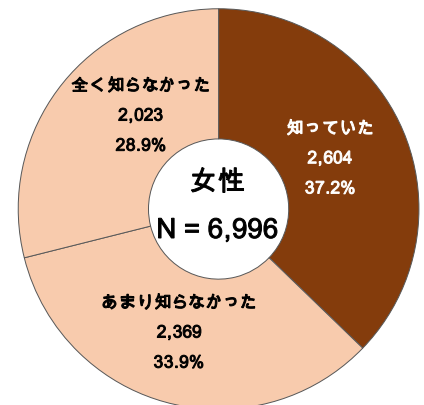
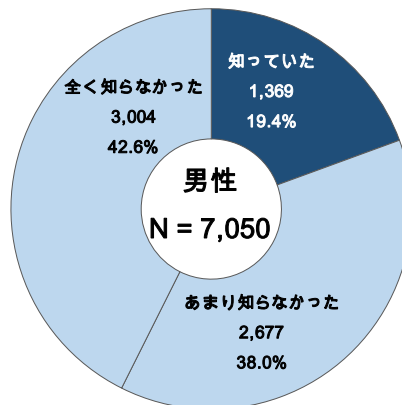
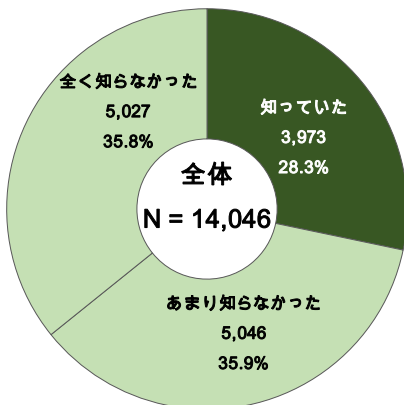
### <大腸がん 死亡者数順位の認知>

設問：あなたは、以下の事について知っていますか？ 大腸がんが胃がんを抜いてがん死亡者数の2位になった。（単一回答）



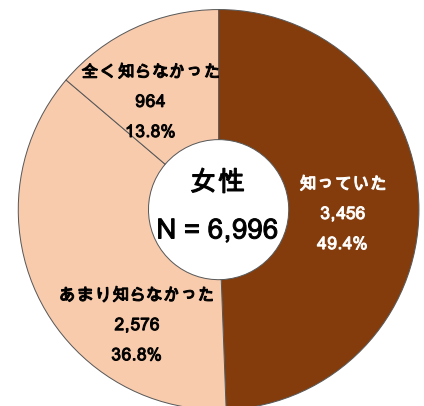
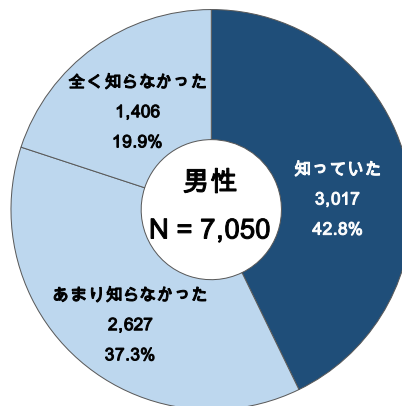
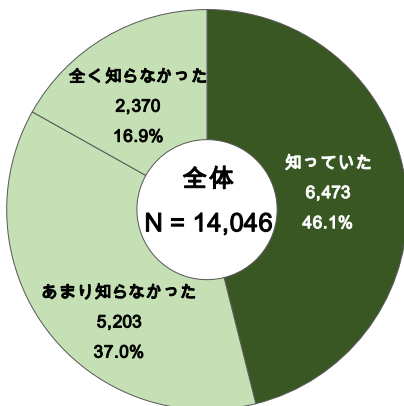
### <大腸がん 女性の死亡原因が1位であることの認知>

設問：あなたは、以下の事について知っていますか？ 最近の女性のがん死亡原因の第1位が大腸がんである。（単一回答）



### <大腸がん 自覚症状有無の認知>

設問：あなたは、以下の事について知っていますか？ 大腸がんは進行するまでほとんど自覚症状がない。（単一回答）

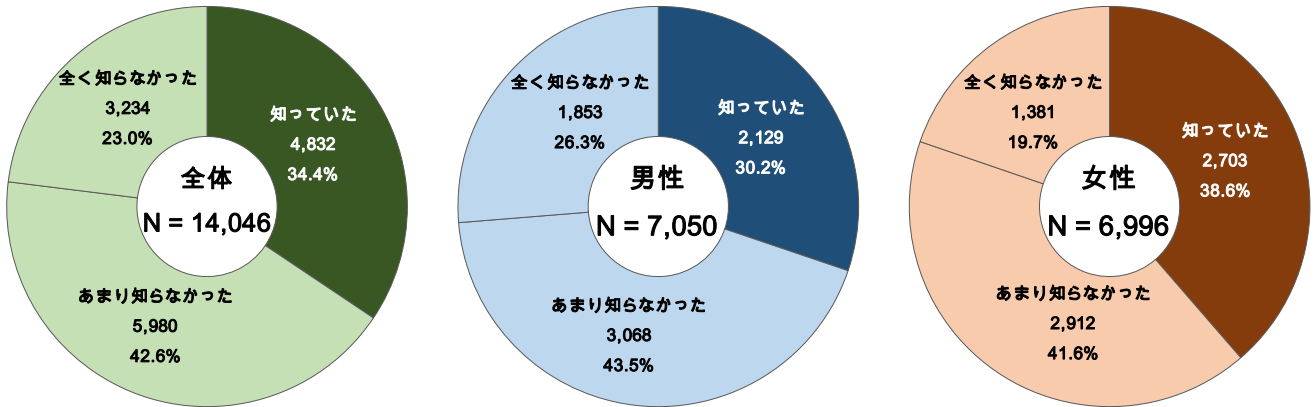


## ■大腸がんは早期発見・早期治療すれば治ることを女性の方が知っている

大腸がんは危険な病気ですが「早期発見・治療すれば9割以上が完治する」ことを知っていたと答えた人が全体で34.4%でした。男性が30.2%、女性は38.6%でしたが40.0%には達していません。6割以上の方があまり認識していないことが分かりました。

### <大腸がん 早期発見・治療による完治可能性の認知>

設問：あなたは、以下の事について知っていますか？ 大腸がんを早期発見・早期治療した場合、9割以上が完治する。（単一回答）



## ■大腸がんについての情報はどこから得ているか？

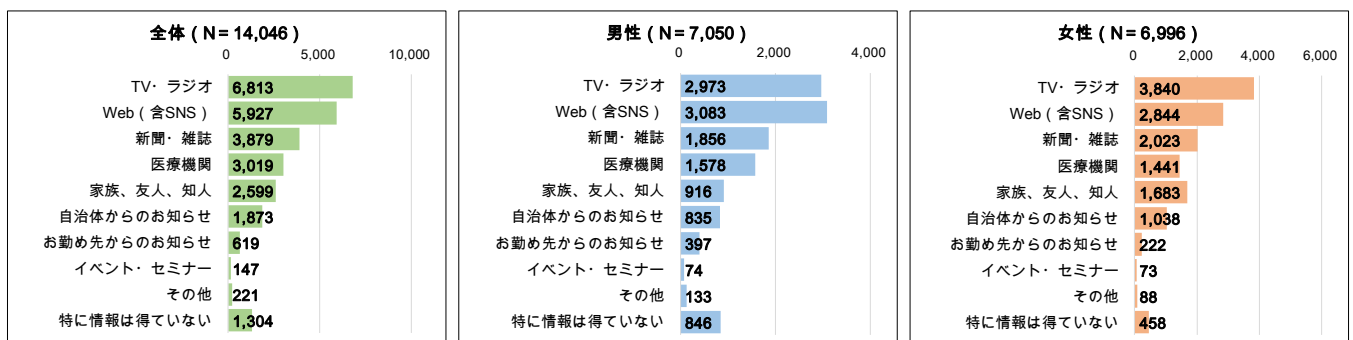
大腸がんの情報入手先の上位は「TV・ラジオ」「インターネット（SNS含む）」「新聞・雑誌」でした。

男女で見ると男性は「インターネット（SNS含む）」が1位ですが、女性は「TV・ラジオ」が圧倒的に多いです。また「家族、友人、知人」を情報入手先にあげた女性が多く、「医療機関」や「自治体」を上回っていました。女性がマスコミやインターネットに加え、「家族、友人、知人」から情報を得ていることが分かります。

今後、大腸がん検診のお知らせの方法として、自治体のWebサイトとともにSNSを活用することも検討の余地があると思われます。

### <大腸がんに関する情報の入手先>

設問：あなたは、大腸がんについての情報をどこから得ていますか？（複数回答可）



## ■大腸がん精密検査を受けない理由

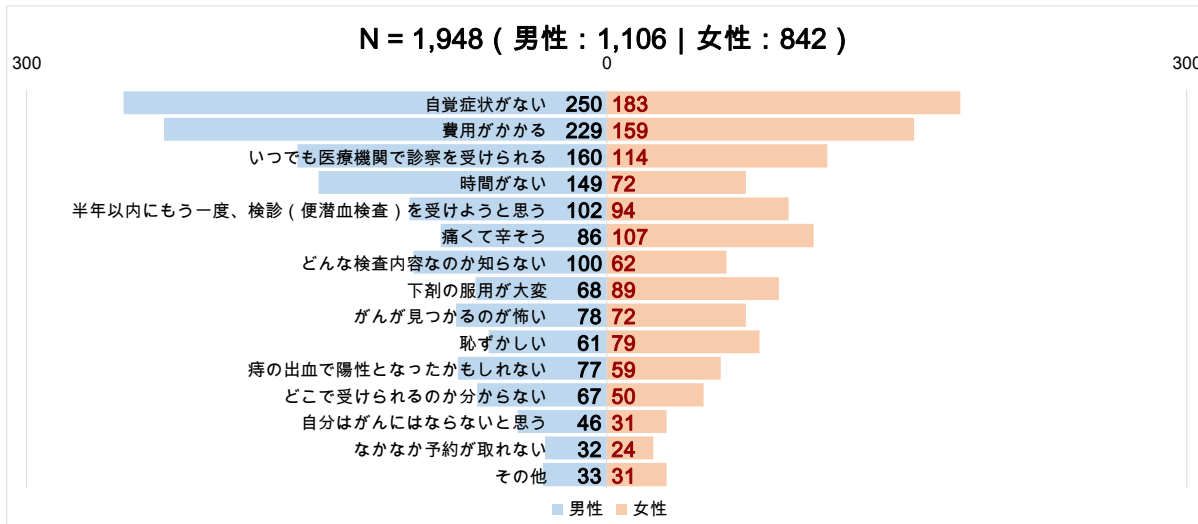
大腸がん検診で陽性になった場合、「半年以内に大腸がん精密検査も医療機関での診察も受けない」と答えた人に理由を聞きました。男女共に1位「自覚症状がない」、2位「費用がかかる」、3位「いつでも医療機関で診察が受けられる」と答えています。男性の4位は「時間がない」ですが、女性は「痛くて辛そう」でした。

### <大腸がん精密検査（内視鏡検査等）の未受診理由>

設問：「大腸がん検診（便潜血検査）で陽性（要精密検査）となった場合はどのように対応しますか？」という質問で、

「半年以内に精密検査（大腸内視鏡検査等）を受ける」「半年以内に医療機関で診察を受ける」とお答えにならなかった理由を教えてください。（複数回答可）

（もし陽性（要精密検査）になった場合、「『半年以内に精密検査（大腸内視鏡検査等）を受ける』『半年以内に医療機関で診察を受ける』と答えなかった方」を対象）



## 大腸がんに関する全国意識調査の新しい試み

### ■健康保険の種類と「大腸がん検診を毎年受けている」と答えた人の関係について

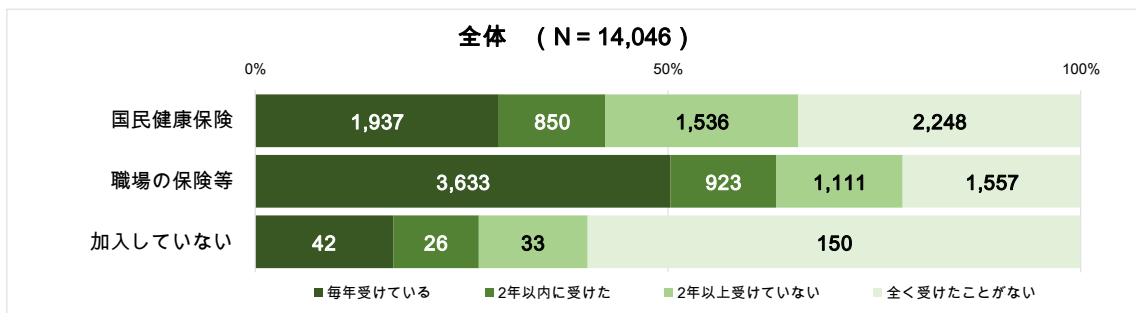
今回新しい試みとして、健康保険の種類と「大腸がん検診を毎年受けている」と答えた人の関係を調べてみました。その結果、全国意識調査の対象者のうち国民健康保険の加入者は6,571名、職場の保険等の加入者は7,224名、未加入者は251名でした。「大腸がん検診を毎年受けている」と答えた人の割合は、国民健康保険加入者が29.5%（1,937名）、職場の保険等加入者が50.3%（3,633名）でした。

#### <健康保険の種類と大腸がん検診（便潜血検査）受診の関係>

設問：あなたは、大腸がん検診（便潜血検査）を受けたことがありますか？（単一回答）

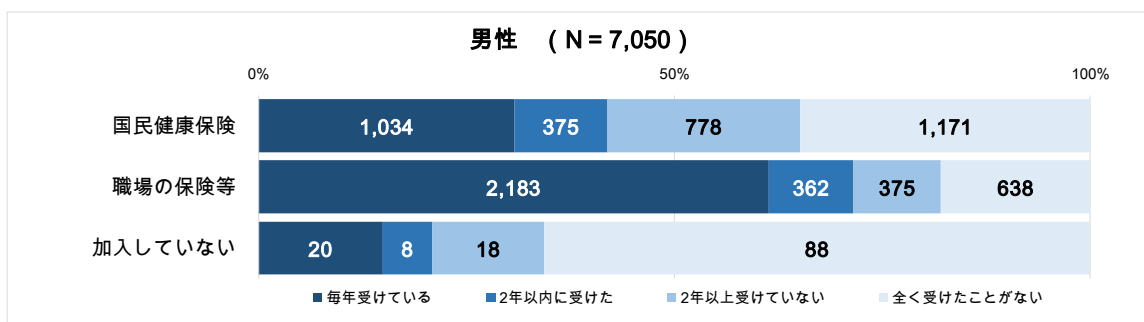
設問：あなたが現在加入している健康保険の種類は次のうちどれですか？（単一回答）

	毎年受けている		2年以内に受けた		2年以上受けていない		全く受けたことがない		全体	
国民健康保険	1,937	29.5%	850	12.9%	1,536	23.4%	2,248	34.2%	6,571	100.0%
職場の保険等	3,633	50.3%	923	12.8%	1,111	15.4%	1,557	21.6%	7,224	100.0%
加入していない	42	16.7%	26	10.4%	33	13.1%	150	59.8%	251	100.0%
総計	5,612	40.0%	1,799	12.8%	2,680	19.1%	3,955	28.2%	14,046	100.0%



男女別に見ると、国民健康保険加入者で「大腸がん検診を毎年受けている」と答えた男性は30.8%（1,034名）、女性は28.1%（903名）です。職場の保険等加入者で「大腸がん検診を毎年受けている」と答えた男性は61.4%（2,183名）、女性は39.6%（1,450名）でした。これはあくまで意識調査の結果ですが、国民健康保険では男女の差がなく、職場の保険加入者では女性は男性の2/3に留まっています。

	毎年受けている		2年以内に受けた		2年以上受けていない		全く受けたことがない		男性	
国民健康保険	1,034	30.8%	375	11.2%	778	23.2%	1,171	34.9%	3,358	100.0%
職場の保険等	2,183	61.4%	362	10.2%	375	10.5%	638	17.9%	3,558	100.0%
加入していない	20	14.9%	8	6.0%	18	13.4%	88	65.7%	134	100.0%
総計	3,237	45.9%	745	10.6%	1,171	16.6%	1,897	26.9%	7,050	100.0%



	毎年受けている		2年以内に受けた		2年以上受けていない		全く受けたことがない		女性	
国民健康保険	903	28.1%	475	14.8%	758	23.6%	1,077	33.5%	3,213	100.0%
職場の保険等	1,450	39.6%	561	15.3%	736	20.1%	919	25.1%	3,666	100.0%
加入していない	22	18.8%	18	15.4%	15	12.8%	62	53.0%	117	100.0%
総計	2,375	33.9%	1,054	15.1%	1,509	21.6%	2,058	29.4%	6,996	100.0%

